

中村恩恵 × 首藤康之

Shakespeare THE SONNETS

シェイクスピア『ソネット』



photo: 操上和美

2011.9.30 Fri 7:00 / 10.1 Sat 6:00

構成・演出・出演：中村恩恵 首藤康之 衣裳協力：株式会社ヨウジヤマモト
アーティスティック・コンサルタント：デヴィッド・ビントレー 主催：新国立劇場

チケット料金(税込)：S席 6,300円/A席 5,250円/B席 4,200円/C席 3,150円
新国立劇場ボックスオフィス 03-5352-9999 <http://www.nntt.jac.go.jp/dance/>



新国立劇場

NEW
NATIONAL
THEATRE
TOKYO

中劇場 ————— PLAYHOUSE

今回新国立劇場では、中村恩恵と首藤康之がシェイクスピアの『ソネット』を現代の視点で読みなおしたデュオ作品を新制作します。豊かな芸術性を持つ二人のアーティストが作り出す豊かな空間は、幅広いお客様にダンスをお楽しみいただける機会となるでしょう。

中村恩恵 × 首藤康之 Shakespeare THE SONNETS シェイクスピア『ソネット』

構成・演出：中村恩恵 首藤康之 振付：中村恩恵
音楽：ディルク・ハウブリッヒ 照明：足立 恒 音響：内田 誠 舞台監督：黒澤一臣
出演：中村恩恵 首藤康之

シェイクスピアのソネットは愛の詩です。

輝かしい喜び、甘美な心の動き、優しさ、そして失うことの恐れや、嫉妬、猜疑心や諦め、苦悩……。多くの感情が表現されて、読む者の心をとぐと掴みます。遠く昔に生きたイギリスの詩人の心の動きが、まるで現代に生きる私たちの心の動きと重複するような気持ちになります。

この謎めいた詩をめぐってさまざまな解釈がなされていますが、今回の作品では、その神秘性を大切にしつつも、とらわれることなく二人で様々な試みや思考を重ねていき、煩雑で複雑に繋がってくる創作過程の中、骨格のみが立ち現れてくるまで削ぎ落とす入念な作業を通じて、これだけは削れないという人間の共通分母に出会うことができることを期待して、創作を進めていきたいと思えます。

中村恩恵 首藤康之

中村恩恵

Nakamura Megumi



©NOMO

首藤康之

Shuto Yasuyuki



©村上和美

第17回ローザンヌ国際バレエコンクールにてプロフェッショナル賞を受賞後、フランス・ユース・バレエ、アヴィニョン・オペラ座、モナコ・モンテカルロ・バレエ団を経て、1991～99年、J.キリアン率いるネザーランド・ダンス・シアターに所属し活躍。退団後はオランダを拠点に活動。2000年、自身振付ソロ作品「Dream Window」でGolden Theater Prize (オランダ)を受賞。'01年、彩の国さいたま芸術劇場にてJ.キリアン振付「ブラック・バード」を初演し、ニムラ舞踊賞を受賞。'05年「A play of a play」を発表、ソロ作品「One」をオランダで上演。'07年に日本へ活動の拠点を移し、Dance Sangaを設立。振付家とダンサーの活動を両立し、主な振付作品としてNoism07「Waltz」(舞踊批評家協会新人賞受賞)、NBAバレエ団「露とくとく」、野間バレエ「Room」、「シンデレラ」(全幕)等がある。ダンストリエンナーレTOKYO 2009にてソロ作品「ROSE WINDOW」を上演。最近では「The Well-Tempered」、「時の庭」等、首藤康之との創作活動を積極的にこなしている。'11年に第61回芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。

15歳で東京バレエ団に入団。19歳で「眠れる森の美女」の王子で主役デビュー後、数々の古典作品をはじめ、M.ベジャール振付「M」、「ボレロ」他、J.ノイマイヤーやJ.キリアン等の現代振付家の作品にも数多く主演。またM.ボーン振付「SWAN LAKE」に主演。2004年に東京バレエ団を退団後、特別団員となる。以降は浅野忠信監督の映画「トリー」に出演、J.カラコ演出「SHAKESPEARE'S R&J」でストリートプレイに出演する等活動の幅を広げる。'07年には自身のスタジオ「THE STUDIO」をオープン。同年ベルギー王立モネ劇場にて、S.L.シェルカウイ振付「アポクリフ」を世界初演。'08年、小野寺修二演出「空白に落ちた男」に主演、同作品は'10年にバルコ劇場で再演される。最近では「The Well-Tempered」、「時の庭」等、中村恩恵との創作活動を積極的にこなしている。また「アポクリフ」は初演以来ヨーロッパ各地のダンスフェスティバルで毎年公演を重ね、'10年には日本公演が実現。これら一連の成果を認められ第42回舞踊批評家協会賞を受賞。

前売開始 2011年6月18日(土) 10:00～
Booking opens Sat. 18. Jun. 2011 10:00 am

ボックスオフィス 03-5352-9999
Box Office

Webボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>
Web Box Office (PC、携帯共通)



携帯版ボックスオフィスはこちらから→

◆チケット取扱い (C席のお取扱いはボックスオフィスとチケットぴあのみです)

チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード 412-268)
TICKET PIA <http://pia.jp/t/> (PC&携帯)

イープラス <http://eplus.jp/> (PC&携帯)
E PLUS

CNプレイガイド 0570-08-9999
CN PLAYGUIDE <http://www.cnplayguide.com/> (PC&携帯)

ローソンチケット 0570-000-777 (Lコード 39165)
LAWSON TICKET <http://l-tike.com/> (PC&携帯)

JTB・近畿日本ツーリスト・日本旅行・トップツアー ほか

■グループでのお申し込み：10名以上でのご観劇の場合は新国立劇場営業部 (TEL:03-5351-3011 [代表]) までお問い合わせください。

■車椅子をご利用のお客様はボックスオフィスまでお問い合わせください。

◆公演日程 中劇場 託児室利用可能

2011年	9月30日(金) Fri. 30. Sep.	10月1日(土) Sat. 1. Oct.
開演時間	7:00	6:00

開場は開演の45分前です。
開演後のご入場は制限させていただきます。
途中の休憩はございません。

◆座席と料金(税込)



※Z席は、公演当日ボックスオフィスにて一般発売。いずれも1人1枚、電話予約不可。
*当日学生割引(50%割引/Z席除く)：公演当日のみボックスオフィスとチケットぴあ一部店舗で販売。1人1枚。電話予約不可。要学生証。

◆割引のご案内

ジュニア割引、学生割引、高齢者割引(65歳以上)、障害者割引がございます。ボックスオフィスにてお申し込みの際に、割引をご利用の旨お知らせください。(学生、高齢者割引は、チケットぴあ一部店舗でもご利用いただけます。Webボックスオフィス・他のプレイガイドなどでは受付できません。それぞれ、年齢を確認できるもの・学生証・障害者手帳が必要になります。)

＜キッズルーム「ドレミ」＞がご利用になれます。
各公演一般発売日より受付開始。
来場予定日の1週間前までに下記へ電話予約。定員制。
●利用料金/0～1歳 2,000円 2～12歳 1,000円
●ご予約・お問い合わせ
(株)小学館集英社プロダクション HAS総合保育事業部
☎0120-500-315 (土日祝を除く午前10時～午後5時)

全国公演
中村恩恵×首藤康之 Shakespeare THE SONNETS
兵庫県立芸術文化センター 2011年10月15日(土) 2:00開演
お問い合わせ：芸術文化センターチケットオフィス
TEL:0798-68-0255 <http://www.gcenter-hyogo.jp>

次回公演
近松DANCE式
[Aプログラム] 鍵田真由美×佐藤浩希 アルティソレラ「女殺油地獄」
2001年文化庁芸術祭優秀賞に輝いた「FLAMENCO 曾根崎心中」に続き、第二弾となる近松ト左衛門作品の創作フラメンコ。
2011年11月17日(木)～21日(月)
[Bプログラム] 加賀谷 香 Dance-SHAN「エゴイズム」
近松による「世話物」狂言を題材に、魅力的な男性出演者/近藤良平・篠井英介・佐藤洋介・柳本雅寛と共にダンスと音楽、語りで描き出す。
2011年11月25日(金)～27日(日)
◎前売開始：2011年9月18日(日)

◆注意事項 ●就学前のお子様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。お子様につきましても1人1枚チケットをお求めください。●騒音、手摺の近く、バルコニーの一部のお席で、舞台が見えにくい場合がございます。ご了承ください。●公演日、座席によってはお求めにない場合がございます。●公演中止の場合を除き、チケットの変更及び払い戻しはいたしません。



交通のご案内

京王新線(都営新宿線乗入)新宿駅、
初台駅中央口直結。
KEIO NEW LINE, HATSUDAI STATION
(京王線は止まりません。)
山手通り、甲州街道交差点。首都高速4号線新宿出口・初台出口
劇場地下に駐車場があります。なおご観劇の際は、駐車料金を割引いたします。



〒151-0071 東京都渋谷区本町1-1-1 TEL.03-5351-3011 (代表)
NEW NATIONAL THEATRE, TOKYO/1-1-1 HON-MACHI, SHIBUYA-KU TOKYO JAPAN